

一帯一路からユーラシア新世紀への道

2018年12月16日（日）9：00（開場9：00）

- 共催** 明治大学国際武器移転史研究所、日本華人教授会議、一帯一路日本研究センター、韓国人研究者フォーラム
- 後援** 日本中国友好協会、日本評論社、毎日新聞社
- 会場** 明治大学グローバルフロント1階（JRお茶の水駅徒歩1分）*明治大学リパティタワーとは異なりますのでご注意ください。

司会：宮脇昇（立命館大学政策科学部教授・学会副理事長）

I：若手・文化・自由報告報告（9:00～10:30）

朝格吉拉図（筑波大学環境学博士、GAIJ研究員）「北東アジアにおける呼倫湖周辺域による日中水環境協力の重要性」
 謝志海（共愛学園前橋国際大学国際社会学部准教授）「一帯一路は機会か脅威か：関係各国の反応を中心に」
 王春民（蘭台法律事務所弁護士）「一帯一路」における中日合作の法的考察（仮）
 鈴木賢一（政党事務局部長）「歴史的な南北・米朝首脳会談と韓国ハイレベル外交力」

II：特別部会（10:30～11:00）岡倉天心賞受賞記念賞発表・司会；朽木昭文（学会理事長）
 岡倉天心研究奨励賞受賞者講演 | 岡倉天心記念賞受賞者講演 | 岡倉天心国際賞講演

III：「一帯一路日本研究センター」訪中団現地調査交流報告（11:00～12:10）

司会：周璋生（立命館大学政策科学部教授）
 報告者：唱新、竹内幸史、渋谷祐、朱炎、李瑞雪、徐一叡、後藤康浩

IV：基軸講演（12:10～12:20）

谷口誠（元国連大使、一帯一路日本研究センター顧問）「一帯一路と日本外交の進路」

理事会（12:20～13:15）／総会（13:15～13:25）

理事会は大会会場隣のマルチルームで行います。

主催校代表挨拶（13:25～13:30）：瀨織厚（明治大学特任教授・同大学国際武器移転史研究所客員研究員）

第一部：『一帯一路からユーラシア新世紀への道』（日本評論社刊） 出版記念シンポジウム「米中貿易戦争と一帯一路構想の新展開」

（13:30～15:50）

- 司会・ディスカッサント：朱建栄（東洋学園大学教授）
- ・坂東賢治（毎日新聞編集論説委員・前北京支局長）
 - ・小原雅博（東大教授・元上海総領事）
 - ・沖村憲樹（国立研究開発法人科学技術振興機構元理事長）
 - ・萩原伸次郎（横浜国立大学名誉教授）
 - ・朽木昭文（日大教授・学会理事長）

～コーヒーブレイク（15:50～16:00）～

第二部：記念講演（16:00～17:00）

- 司会・ディスカッサント：大西広（慶應義塾大学教授）
- ・川名浩一（日揮株式会社副会長）「氷上シルクロードと饒舌なサムライたち——日揮の挑戦——」
 - ・夏紀（長久物流日本代表）「長久物流集団にみる新シルクロード政策」

特別顧問挨拶（17:00～17:10）西原春夫（本学会特別顧問、元早稲田大学総長）

総括（17:10～17:15）進藤榮一（筑波大学名誉教授、学会会長）

シンポジウム参加費（資料代込）

ISAC会員（資料代）500円

関係機関会員 1,000円 / 一般参加者 2,000円

お申込先

- メール info@isac.asia
- 学会HP <http://isac.asia>

懇親会

17:30

～

19:30

会場：ナポリの下町食堂

東京都千代田区神田駿河台2-1-45 B1F
tel. 03-3291-3601（会場から徒歩1分）

懇親会参加会費

4,000円（食事+ドリンク）

先着
30名まで